

Symposium

学校メンタルヘルス活動の新しい試み 生きづらさを抱えた若者たちを社会につなぐには

現在「生きづらさ」を抱えた若者たちへの対応が社会的、政策的課題として浮上しています。大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野は、家庭、学校、職場など場所および社会的条件や個人的事情から派生する「生きづらさ」全般を、社会学、教育学、心理学的な観点から科学しながら、課題解決に向けた活動や政策提言など発信していくことを、社会的使命のひとつと考えています。このシンポジウムでは、教室および教育現場にある関係の中に、「居場所」を作りあげている若者の問題について、喫茶活動を通じた関係づくり入口とする新しい試みについて検討しながら、そこからさまざまな示唆をえたいと考えています。学校教育の幅広い関係者、子どもの健全育成にかかわる活動をされている方々の参加を期待しております。参加は無料、予約も不要です。なお、大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野が入試広報の一環として実施するため、終了後、希望者には入試相談を行います。



- ★日 時 2014年1月8日（水曜）
18時30分より21時15分
- ★会 場 大阪市立大学大学院梅田サテライト101教室
北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階
(右の地図参照)

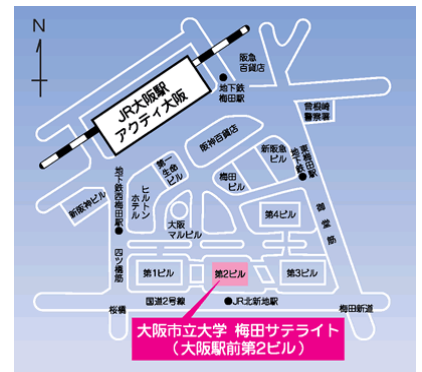
JR北新地駅真上、大阪駅徒歩5分、地下鉄西梅田駅徒歩3分

★報告者と報告内容

- 辻田梨紗：一般社団法人officeドーナツトーク事務局長、精神保健福祉士
カフェ活動創案の背景と運営の現状
- 田中俊英：同上代表、元子ども若者支援NPO代表、京都精華大学非常勤講師
カフェキャラバン活動の意義
- 肥下彰男：大阪府立西成高校教諭
西成高校における「となりカフェ」と学校の関係
- 弘田洋二：大阪市立大学大学院創造都市研究科教授、臨床心理学
学校をベースとしたメンタルヘルス（SBMH）の動向

★司会

- 阿久澤麻理子：大阪市立大学大学院創造都市研究科教授、教育社会学



■都市共生社会研究分野と入試について■

大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野は、2003年4月に開設された社会人向け大学院、大阪市立大学大学院創造都市研究科の一分野です。NPOをツールに共生社会の実現を目指す人材の育成をミッションに掲げ、共生社会に関する様々な課題と、それらに解決に向けたNPOのマネジメント含め、実践的な教育研究活動を展開しています。大学院の入試は、志望動機・キャリアプラン、研究計画書、実務実績の提出と面接で、外国語をはじめとした筆記試験はありません。

お問い合わせ

大阪市立大学大学院

創造都市研究科

都市共生社会研究分野

URL: <http://www.co-existing.com>,

E-mail: info@co-existing.com